２０１６年（平成２８年）２月期
決算説明資料

古野電気株式会社

開示：２０１６年4月１４日（木）

決算説明会：２０１６年4月２５日（月）

注意事項：
本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。
なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

１．２０１６年２月期　決算概況

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

２０１６年２月期　連結決算概況

FURUNO

(単位：百万円)	2015年2月期	2016年2月期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	**85,966**	**89,720**	+3,754	+4.4%
売上総利益	**27,634**	**29,634**	+2,000	+7.2%
（対売上高比率）	32.1%	33.0%	+0.9	
営業利益	**1,799**	**2,911**	+1,112	+61.8%
（対売上高比率）	2.1%	3.2%	+1.2	
経常利益	**2,840**	**3,362**	+522	+18.4%
（対売上高比率）	3.3%	3.7%	+0.4	
当期純損益	**-909**	**2,624**	+3,533	-
（対売上高比率）	-1.1%	2.9%	+4.0	

(単位：円、期中平均レート)

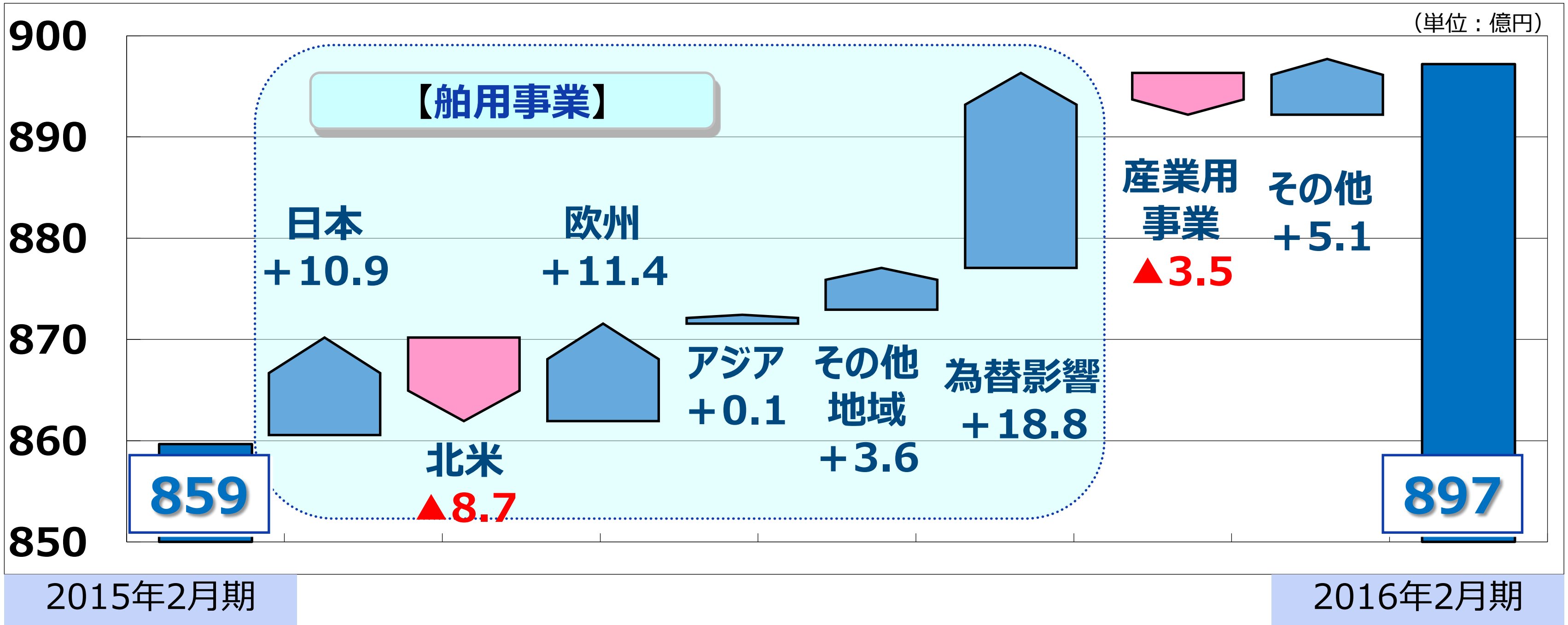
為替（対ドル）	105	121	+16	+15.1%
為替（対ユーロ）	141	135	▲6	▲4.3%

(単位：百万円)	2015年2月期	2016年2月期	増減比（額）	増減比（率）
研究開発費	**4,539**	**4,787**	+248	+5.5%
（対売上高比率）	5.3%	5.3%	+0.1	
設備投資額	**3,060**	**3,521**	+461	+15.1%
（対売上高比率）	3.6%	3.9%	+0.4	
減価償却費	**2,586**	**2,721**	+135	+5.2%
（対売上高比率）	3.0%	3.0%	+0.0	

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

売上高の増減分析

FURUNO



◆舶用事業　+36億円
- 為替影響　+19億円
- 日本：漁業向けで増収
- 北米：為替影響除くと減収
- 欧州：プレジャー向けで増収
- アジア：商船向けで増収

◆産業用事業　▲3.5億円
- 医療機器で増収
- GPS機器や防衛省向けで減収

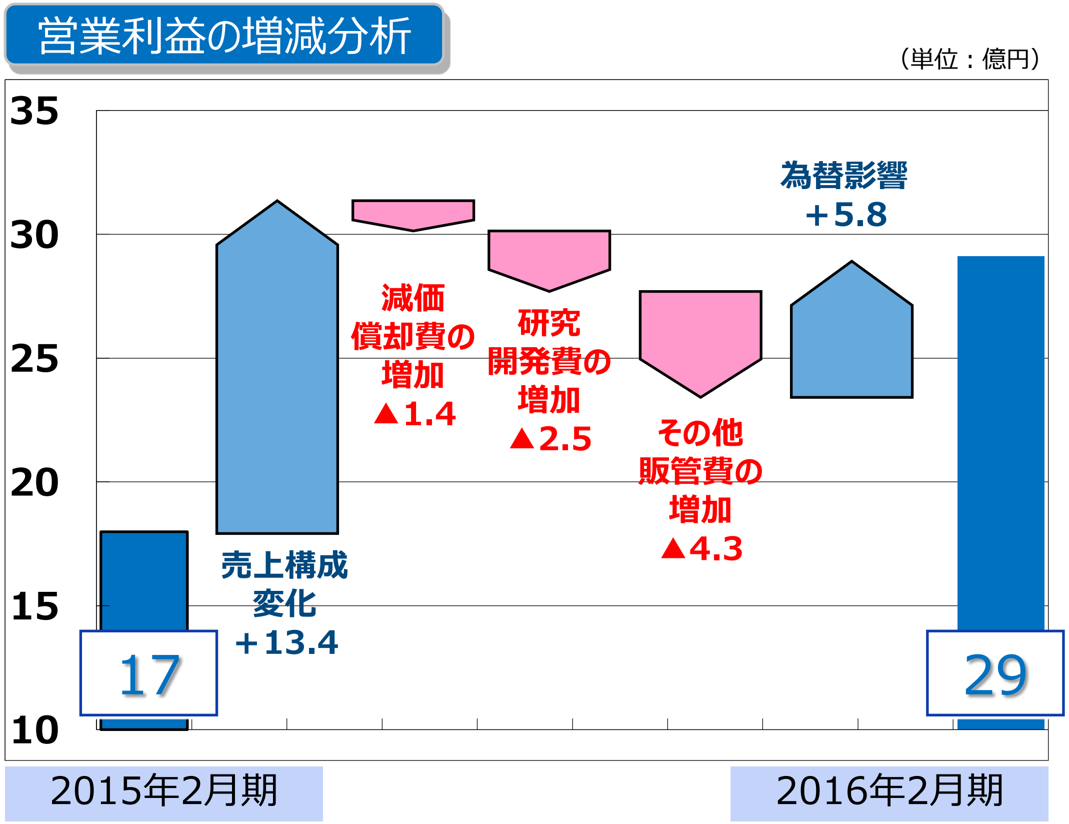
◆その他　+5.1億円
- 無線LANアクセスポイントが好調

※ 為替感応度 （2016年2月期実績値）
【ドル】売上高1.5億円、営業利益0.5億円
【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.6億円

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

利益の増減分析

FURUNO



◆営業利益　＋11億円

【改善】　＋19億円

【悪化】　▲8.1億円

◆経常利益　＋5.2億円

営業外収益　▲6.3億円

- 前期：訴訟関連収益　4.3億円
- 今期：為替差益　2.1億円

営業外費用　▲0.4億円

◆当期純利益　＋35億円

特別利益　＋6.8億円

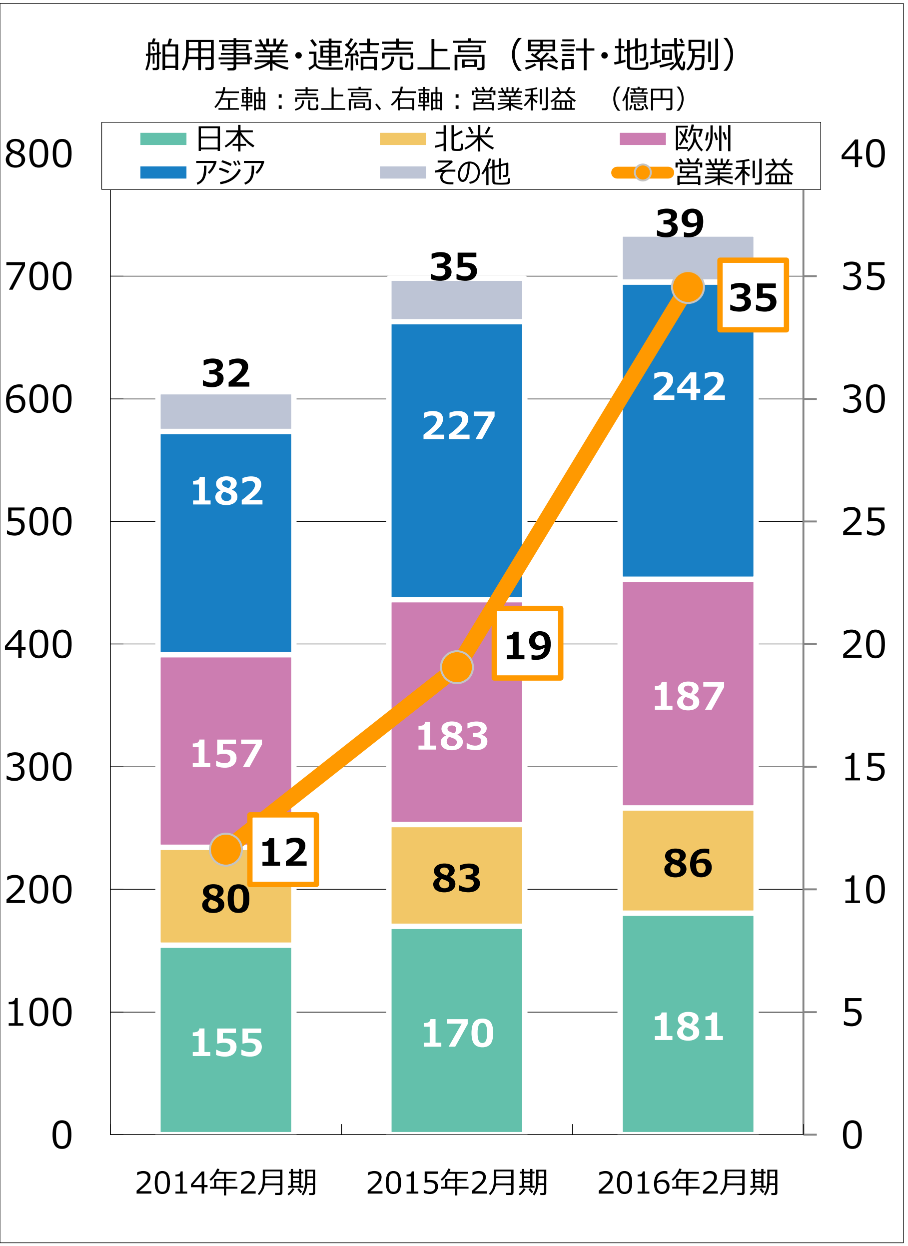
- 今期：投資有価証券売却益　9.2億円

特別損失　＋21億円

- 前期：防衛装備品関連損失引当金繰入28億円
- 今期：防衛装備品関連損失 6.2億円

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

舶用事業の概況



売上高 734億円 （前年同期比 ＋5.1%）
セグメント損益 35億円 （＋16億円）
全地域で増収、プレジャー向けが好調

◆日本：売上高 181億円 （＋6.4%）
- 商船・漁業向け増収。ECDIS好調

◆北米：売上高 86億円 （＋3.2%）
- 増収継続、プレジャー・商船向け堅調

◆欧州：売上高 187億円 （＋1.8%）
- 前年並み。プレジャー向け好調も、商船向け減収に

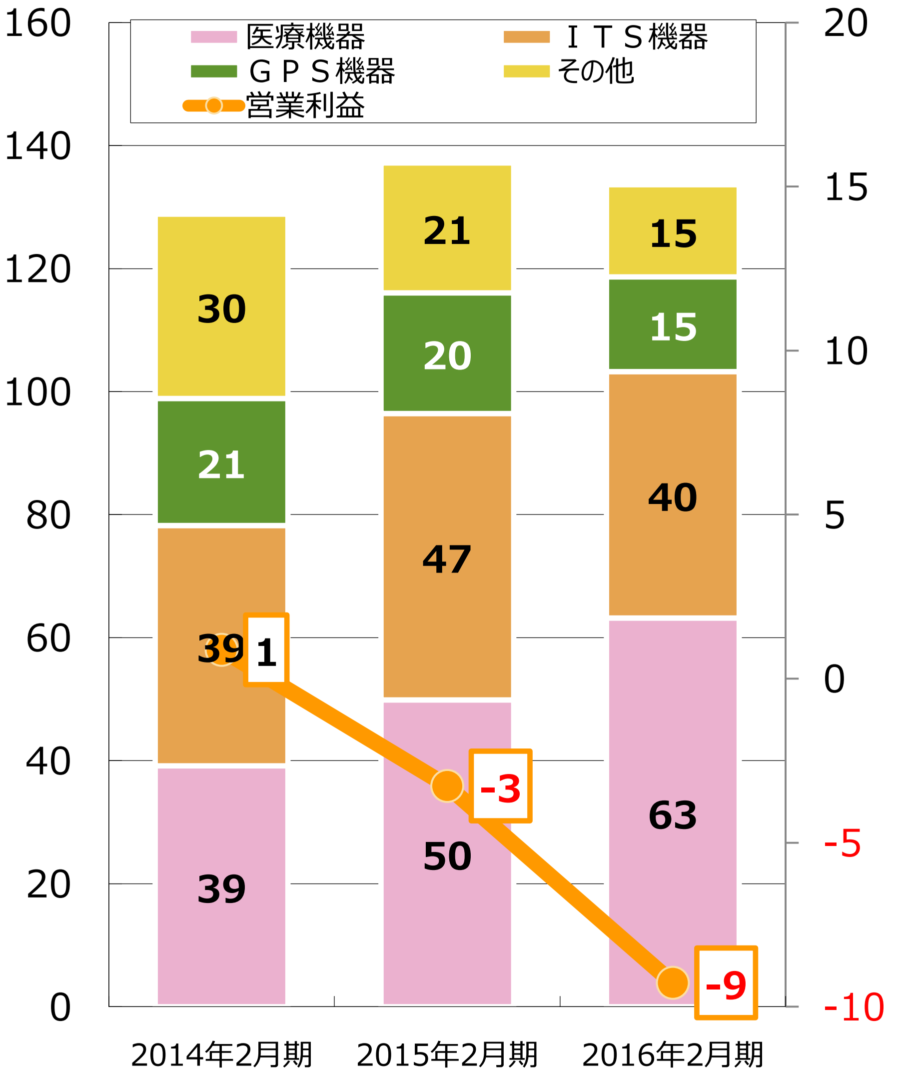
◆アジア：売上高 242億円 （＋6.9%）
- 成長鈍化。商船（新造船）向け増収

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

産業用事業の概況

FURUNO

産業用事業・連結売上高（累計・製品群別）
左軸：売上高、右軸：営業利益　（億円）



売上高 133億円 （前年同期比 ▲2.6%）
セグメント損益 ▲9.3億円　（▲3.3億円）
医療機器は増収継続、
ITS機器･GPS機器･その他（防衛省向け）が減収

- ◆医療機器：売上高 63億円 （＋26.7%）
  - ➢大型の生化学自動分析装置が堅調
- ◆ＩＴＳ機器：売上高 40億円 （▲14.0%）
  - ➢ＥＴＣ車載器が減収
- ◆ＧＰＳ機器：売上高 15億円 （▲21.5%）
  - ➢全般的に低調
- ◆その他：売上高 15億円 （▲29.0%）
  - ➢防衛省向け売上が減収

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

２．２０１７年２月期 業績予想と中長期事業展開

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

中長期の経営方針

FURUNO

1．中長期事業展開の事業像（2020年度のありたい姿）

ビジョン：安全安心、環境にやさしい社会、航海の実現

◆舶用事業

舶用電子機器を核とした海洋総合企業として、創造と革新に満ちた事業活動を通じて、
「海洋に関わる顧客の安全・安心な航海の実現と海洋文化の発展」に寄与する

◆防災・監視ソリューション事業

「SPC&I」（※）によるシステムソリューションで、身近な「安全」「安心」を社会に提供する

◆ヘルスケア事業

人々が健やかで負担の少ない医療を享受できるように「メディカルケアを中心としたヘルスケア」に貢献する

◆通信・GNSSソリューション事業

「安全で利便性の高い、人と車と社会の環境づくり」へ貢献する

「SPC&I」：当社が提供する価値の源泉＝コアコンピタンスを示す呼称です。
センシング（Sensing）、情報処理（Processing）、情報通信（Communication）という３つの技術に、
事業活動で培った知識・経験・スキル・ノウハウを統合（Integration）することで、
お客さまに役立つさまざまなソリューションをグローバルに提供することを意味しています。

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

中長期の経営方針

FURUNO

2．中期経営目標（2016年度～2018年度）

2018年度連結業績目標

売上高：1,000億円、営業利益率：4.5%、ＲＯＥ：8.0%

※当社の中期経営計画は期間３年で策定しますが、市場環境の変化などを勘案して毎年見直す「ローリング形式」を採っております。

※2018年度連結業績目標の想定為替レートは、120円／ドル、130円／ユーロです。

3．基本戦略

◆舶用事業

- コア事業の収益確保と新規事業の収益安定化
- グローバルな事業推進を前提とした販売・サービス・商品企画設計開発の実施
  - ・ライフサイクルサポート（新造・保守・換装）の実現（商船向け事業）
  - ・資源管理型漁業への対応と漁業新興国市場の開拓（漁業向け事業）
  - ・コンセプト転換と小型ワークボート向け事業の強化（小型商品事業）

◆産業用事業

- 戦略商品の開発と拡販による収益向上（ヘルスケア事業、通信・GNSSソリューション事業）

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

２０１７年２月期　連結業績予想

FURUNO

(単位：百万円)	2016年2月期	2017年2月期予想	増減比（額）	増減比（率）
売上高	89,720	86,000	▲3,720	▲4.1%
売上総利益	29,634	28,900	▲734	▲2.5%
（対売上高比率）	33.0%	33.6%	+0.6	
営業利益	2,911	1,900	▲1,011	▲34.7%
（対売上高比率）	3.2%	2.2%	▲1.0	
経常利益	3,362	1,600	▲1,762	▲52.4%
（対売上高比率）	3.7%	1.9%	▲1.9	
当期純利益 (※)2017年2月期予想は「親会社株主に帰属する当期純利益」	2,624	1,100	▲1,524	▲58.1%
（対売上高比率）	2.9%	1.3%	▲1.6	

(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	121	110	▲11	▲8.9%
為替（対ユーロ）	135	125	▲10	▲7.2%

(単位：百万円)	2016年2月期	2017年2月期予想	増減比（額）	増減比（率）
研究開発費	4,787	5,000	+213	+4.4%
（対売上高比率）	5.3%	5.8%	+0.5	
設備投資額	3,521	3,500	▲21	▲0.6%
（対売上高比率）	3.9%	4.1%	+0.1	
減価償却費	2,721	3,000	+279	+10.3%
（対売上高比率）	3.0%	3.5%	+0.5	

配当について

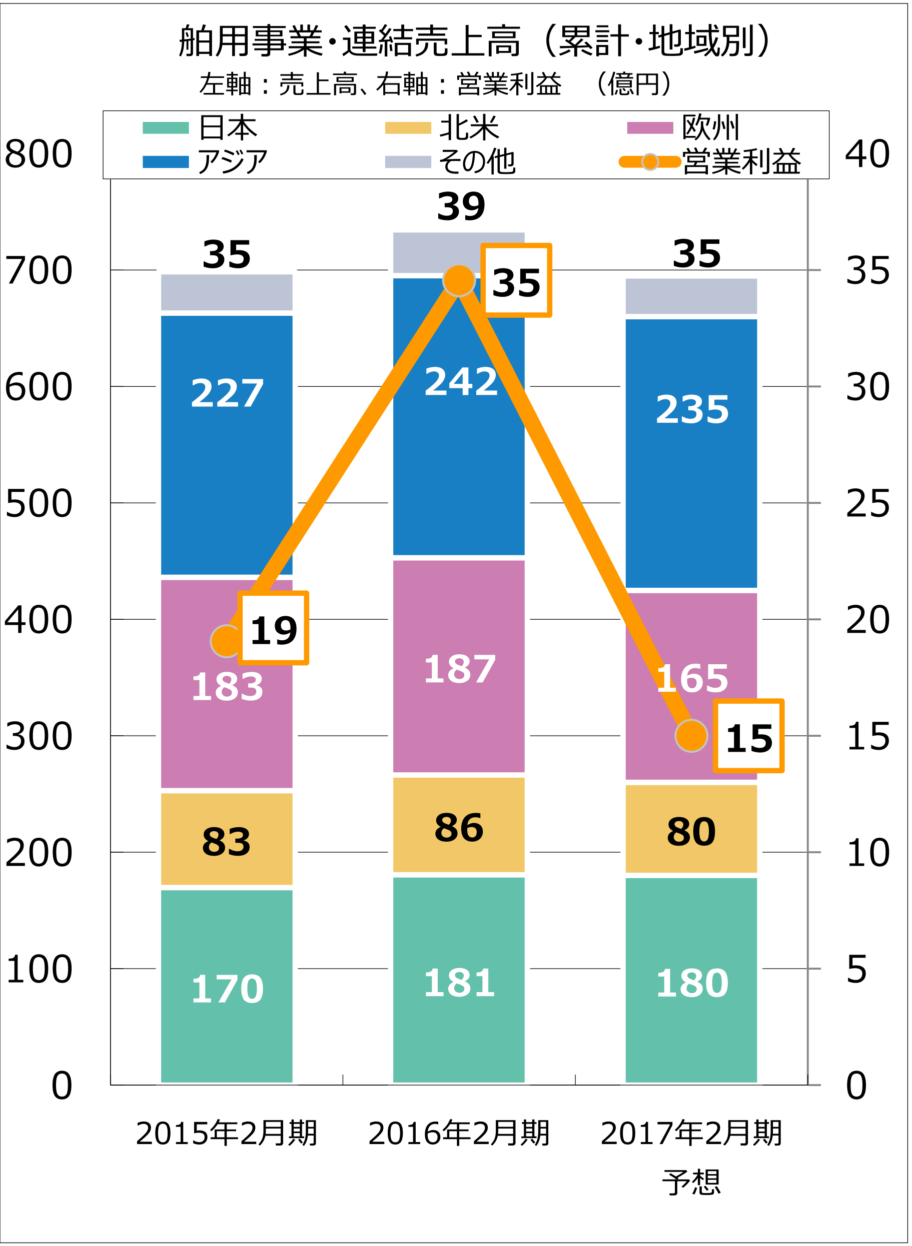
(単位：円)	中間	期末	年間	配当性向
2015年2月期	4.00	4.00	8.00	-
2016年2月期 (案)	4.00	6.00	10.00	12.0%
2017年2月期　(予想)	4.00	4.00	8.00	22.9%

※ 想定為替レート 110円／ドル、125円／ユーロ
※当期純利益の項で、2017年2月期予想の数値は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別の業績予想（舶用事業）

FURUNO



2017年2月期業績予想

売上高 695億円 (前年同期比▲5.4%)
セグメント利益 15億円　（▲56.6%）

◆日本：売上高 180億円　（▲0.4%）
➢前年並み。商船・漁業向けで収益確保

◆北米：売上高 80億円　（▲6.6%）
➢円高影響。プレジャー等小型商品で需要喚起

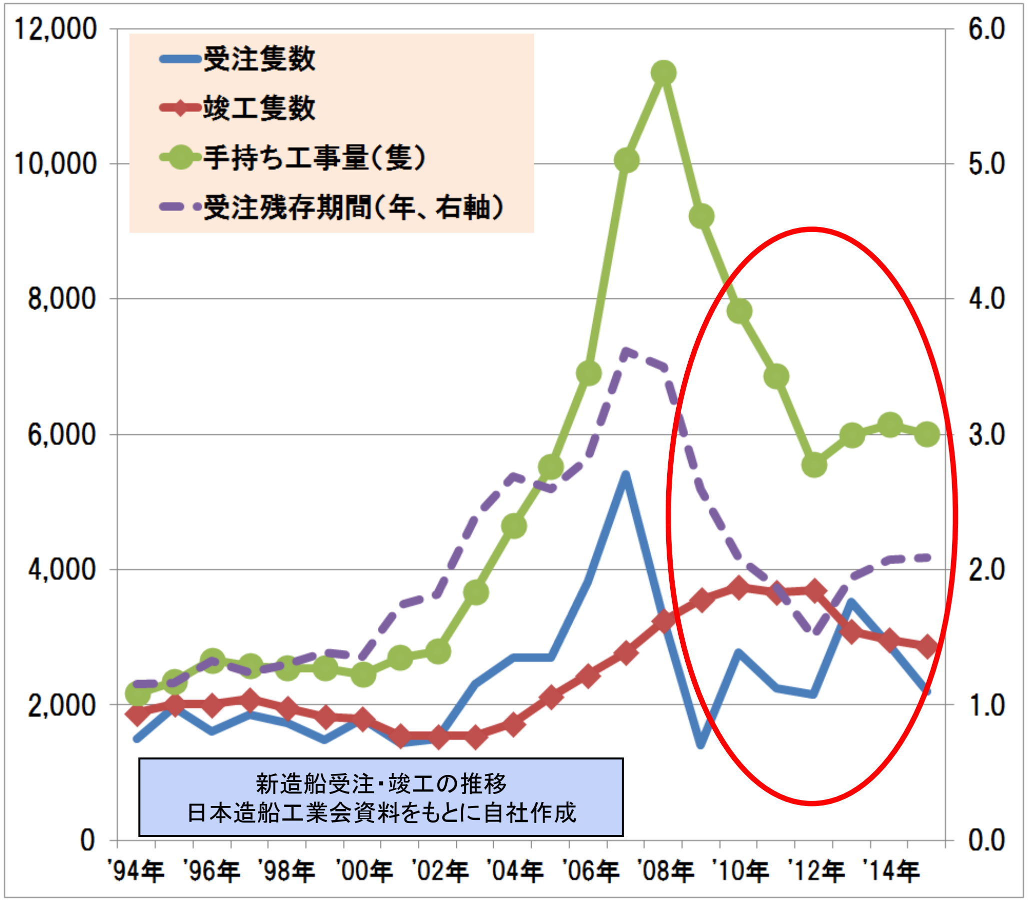
◆欧州：売上高 165億円　（▲11.6%）
➢円高影響。ECDIS等の規制需要対応による商船（既存船）向け拡販推進

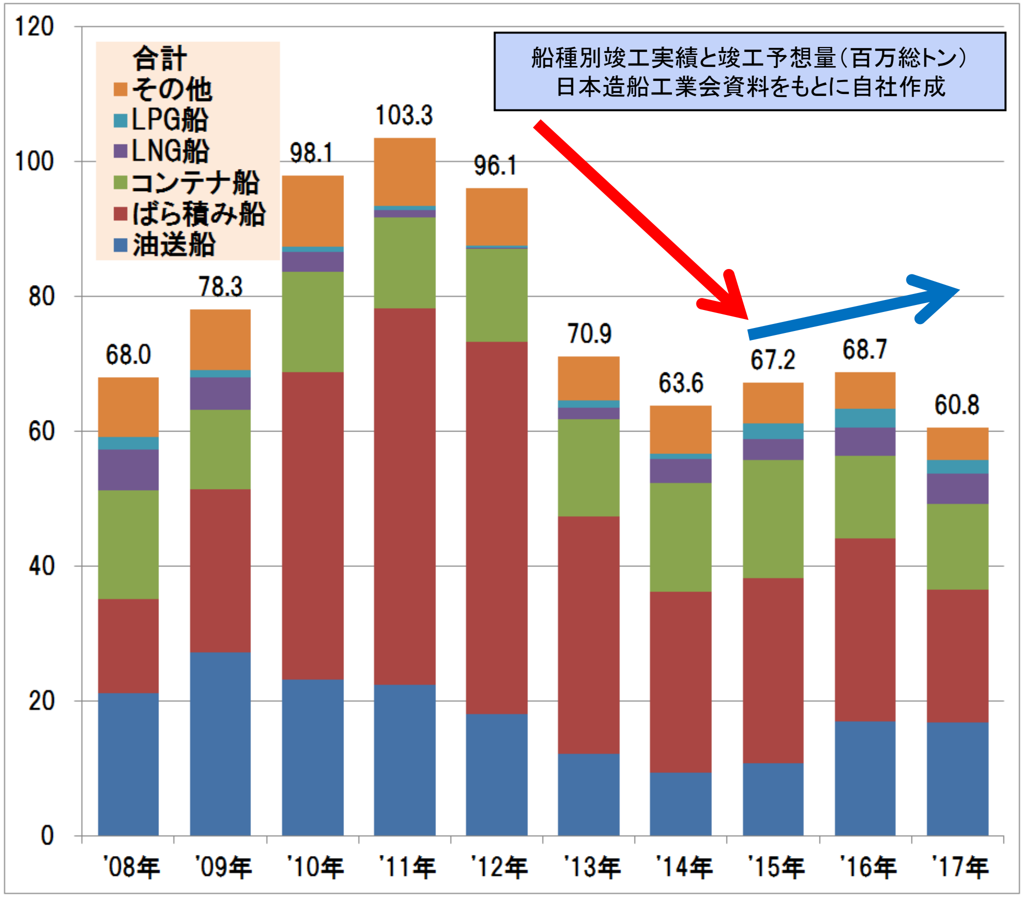
◆アジア：売上高 235億円　（▲3.0%）
➢中国市場減速。新興国での漁業市場開拓強化

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

ご参考） 商船市場環境

FURUNO





2015年の世界新造船実績

	受注隻数		竣工隻数		受注残(隻数)	
		前年比(隻)		前年比(隻)		前年比(隻)
日本	540	-64	520	-2	991	50
韓国	276	-64	358	15	769	-96
中国	730	-434	949	35	2,334	-120
世界合計	2,197	-691	2,870	-93	6,007	-141

◆新造船の建造需要：ゆるやかに回復

◆主要造船各社：2017年央までの受注残確保

◆主要海運各社：輸送需要堅調も船腹過剰

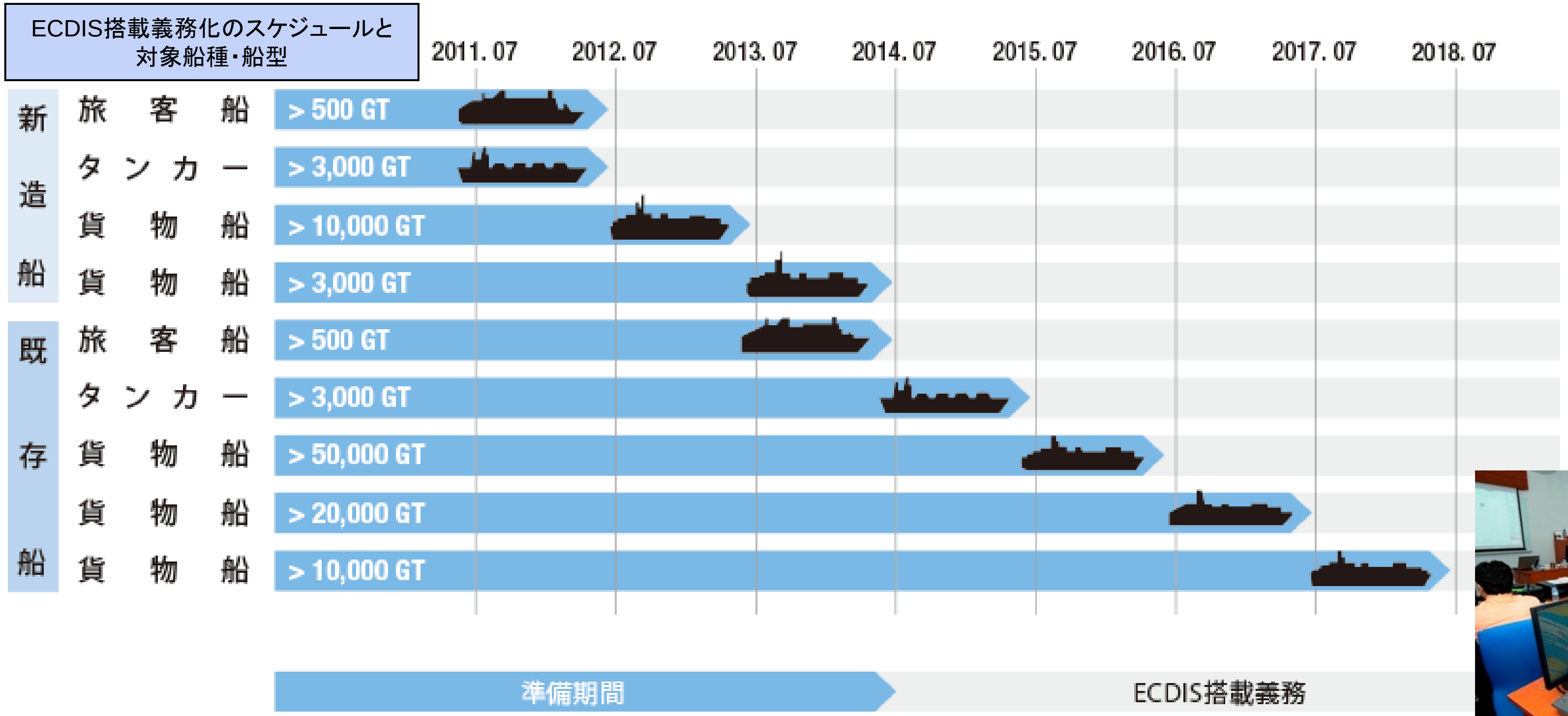
→運賃市況低迷

（数値データ出典：日本造船工業会資料）

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

ご参考） ECDISの搭載義務化について

FURUNO



◆ECDIS（エクディス）・・・画面上に電子海図、AIS、IMOレーダー等の情報や、船位・方位・船速などの航海情報を表示し、航路計画と航行監視を支援する電子海図情報表示システムのこと。

◆2012年から2018年にかけて、国際航海に従事する500総トン以上の旅客船、3,000総トン以上のタンカー、１万総トン以上の貨物船で段階的に搭載が義務化。

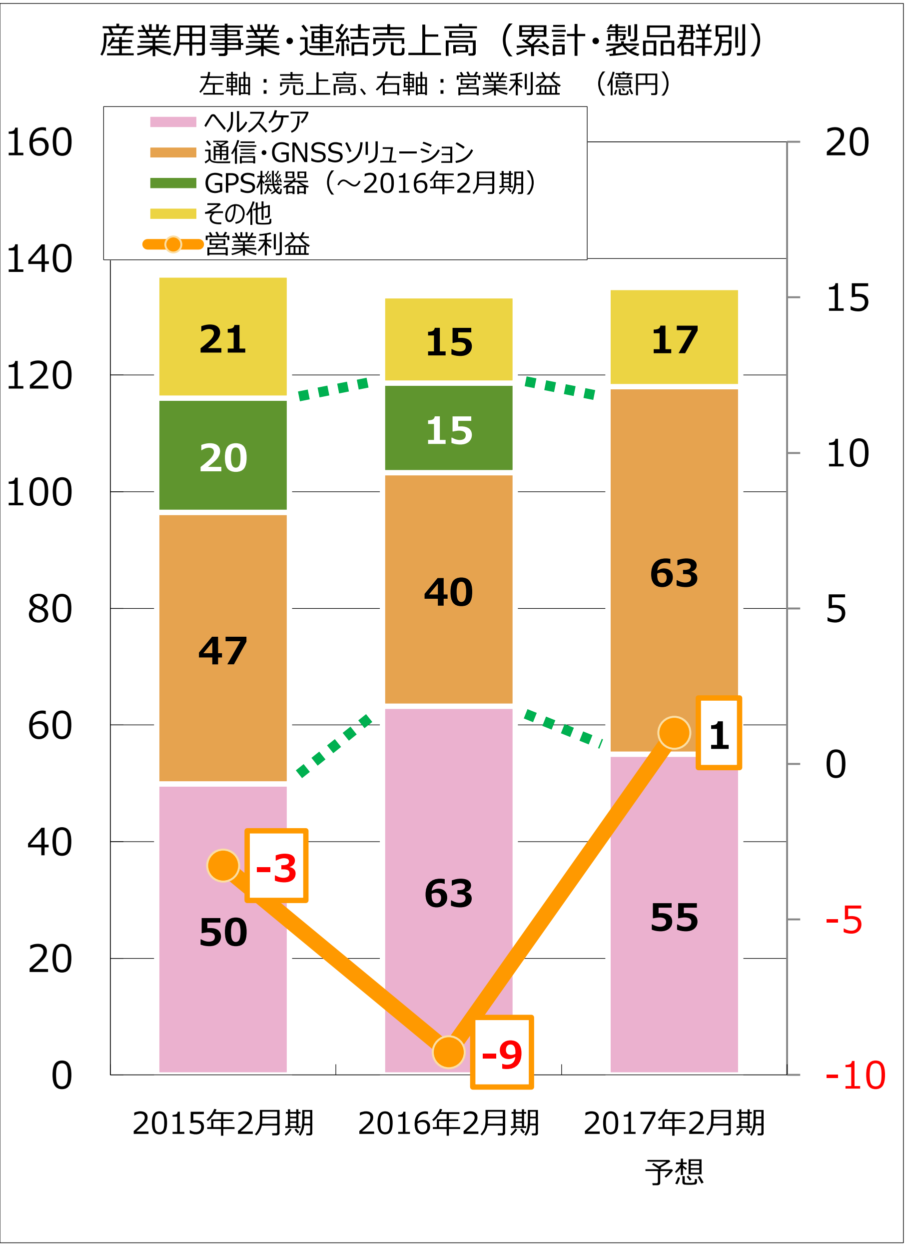
◆2014年度から既存船向けの搭載が本格化。今年７月には５万総トン以上の貨物船が対象になるほか、２台搭載の場合は、ペーパーレス化（紙チャートが不要）できるため、高付加価値船での２台搭載需要が増加。

◆当社はECDIS３機種をラインナップ。各種トレーニングサービスと併せて全世界で販売強化。

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別の業績予想（産業用事業）

FURUNO



2017年2月期業績予想

売上高 135億円 (前年同期比 ＋1.0%)
セグメント利益　1億円
（前年同期9億円の赤字）

◆ヘルスケア事業（医療機器）：
売上高 55億円 （▲13.0%）
➢戦略商品の開発および拡販

◆通信・GNSSソリューション事業（ITS機器＋GPS機器）：売上高 63億円 （＋13.7%）
➢ETC車載器等戦略商品の拡販

◆その他：売上高 17億円 （ ＋13.4%）

※ これまで「ITS機器」「GPS機器」と区分してきた２分野につきましては、2017年2月期から「通信・GNSSソリューション事業」、「医療機器」は「ヘルスケア事業」としてご説明いたします。

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

FURUNO

商船・官公庁船向けの航海用レーダーを開発

◆500総トン以下の商船・官公庁船に搭載可能な航海用レーダー「型式：FAR-15x8」を開発しました。

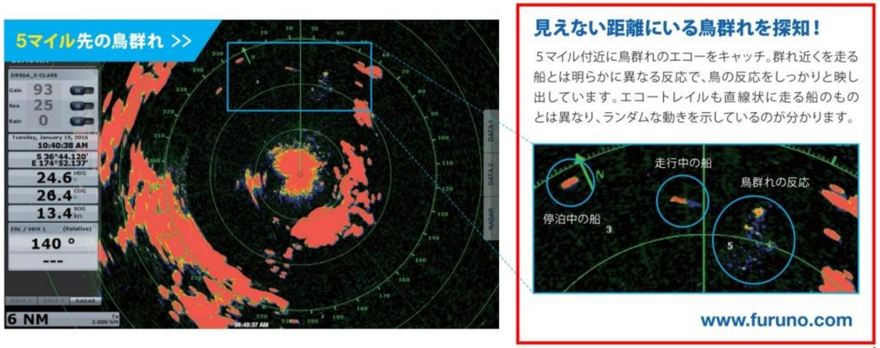
◆海況に応じて表示映像を最適化する自動クラッタ除去機能やターゲットトラッキング機能といったハイエンド機で好評を博している各種機能を標準搭載しております。

ウェブサイト⇒ http://www.furuno.com/jp/merchant/radar/FAR-15x8/

プレジャーボート向けで国内初の“バードレーダー”を開発

◆マルチファンクションディスプレイ「NavNet TZtouch」「 NavNet TZtouch2」向けに、“バードレーダー”の異名を持つ新型レーダーセンサー「型式・DRS6A X-Class」を開発しました。

◆プロフェッショナルな漁業の世界では、遠距離にいる鳥の群れをいかに見つけるかが重要なポイントとなります。当社が培ってきた鳥探知レーダーの経験と技術をもとに、プレジャーボート向けの革新的なレーダーが誕生しました。



ウェブサイト⇒ http://www.furuno.com/special/jp/radar/drs6ax-class/

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

FURUNO

「CaoThrough™」が、「イオンモール常滑」の搬入車両入退管理システムに採用

◆当社のDSRC路側アンテナをベースとするクラウド型車両認識サービス「CaoThrough™」（カオ・スルー）が、2015年12月開業の大型ショッピングモール「イオンモール常滑」（愛知県常滑市）で、搬入車両の入退管理システムとして採用されました。

◆「CaoThrough™」は、株式会社シーイーシーとの協業によって創出した新サービスです。クラウドサーバー型の顧客管理システムと、高速道路の通行などで全国に広く普及しているETC車載器の車両認証機能を活用した車両のハンズフリー入退場をパッケージ化して提供するソリューションサービスとして、公共施設や商業施設を問わず、幅広い利用を目指しております。

カオ・スルー CaoThrough

ウェブサイト⇒ http://www.furuno.com/jp/dsrc/case/cloud/

800テスト/時間の生化学自動分析装置の新製品を開発

◆生化学自動分析装置とは、全血、血清、血漿（けっしょう）や尿などの検体に含まれる酵素、脂質、たんぱく質、糖などを試薬と反応させて、その反応過程を分光光度計で吸光度を測定する検査機器です。今回開発した「型式：CA-800」は、１時間あたり800テストから最大1,200テスト（電解質ユニット付）の高速処理と最少反応液量50ulを実現した高精度・多機能・高効率なフロアトップモデルです。

ウェブサイト⇒ http://www.furuno.com/jp/products/ClinicalChemistryAnalyzer/CA-800

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

補足．フルノグループの事業概要

フルノの概要

FURUNO

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、舶用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。
そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の舶用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2016年2月29日現在

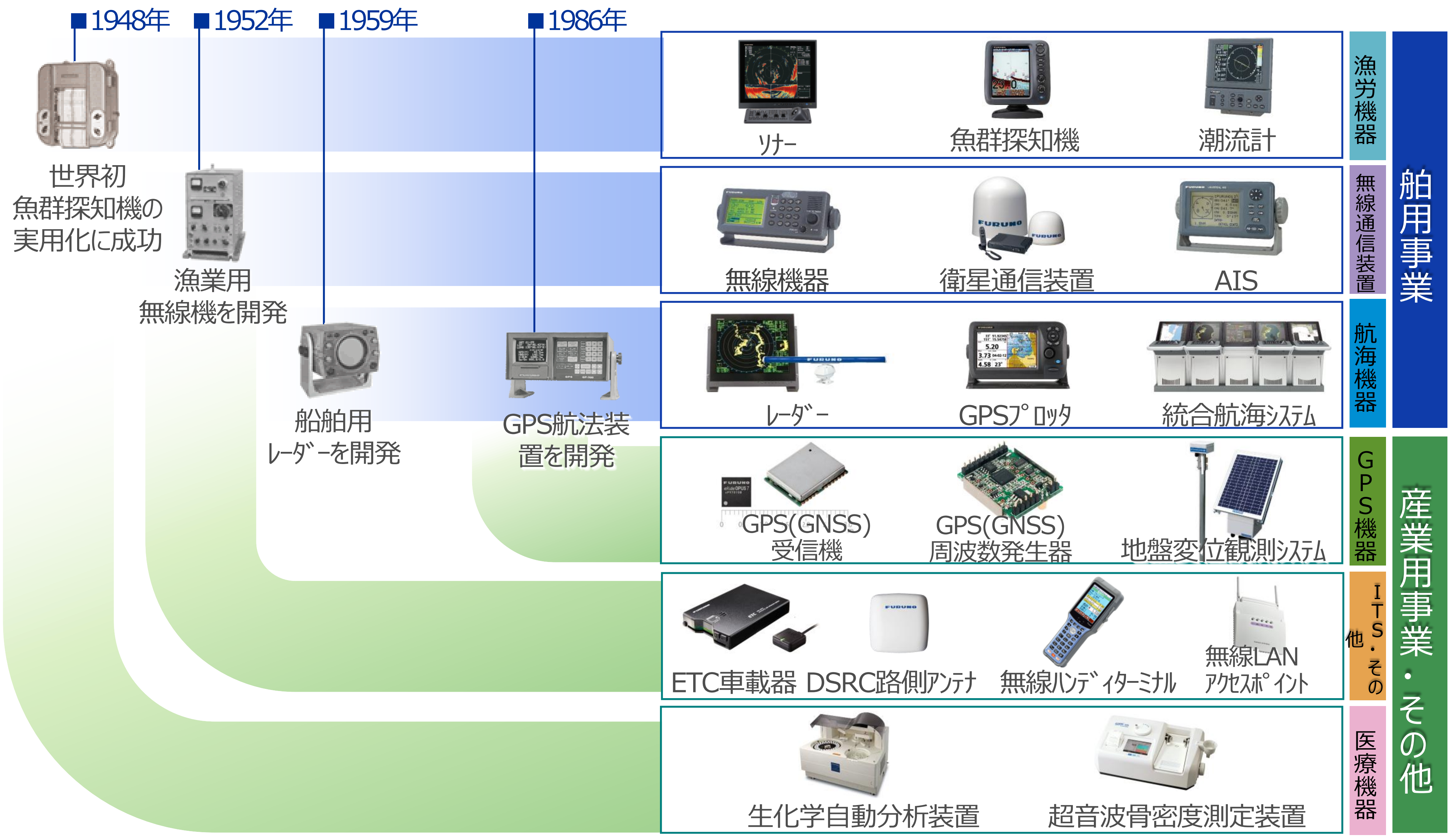
社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年 (昭和26年)
事業内容	舶用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野　幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 （証券コード：6814）

ＩＲ情報サイト⇒　http://www.furuno.co.jp/ir/
製品情報サイト⇒　http://www.furuno.com/

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

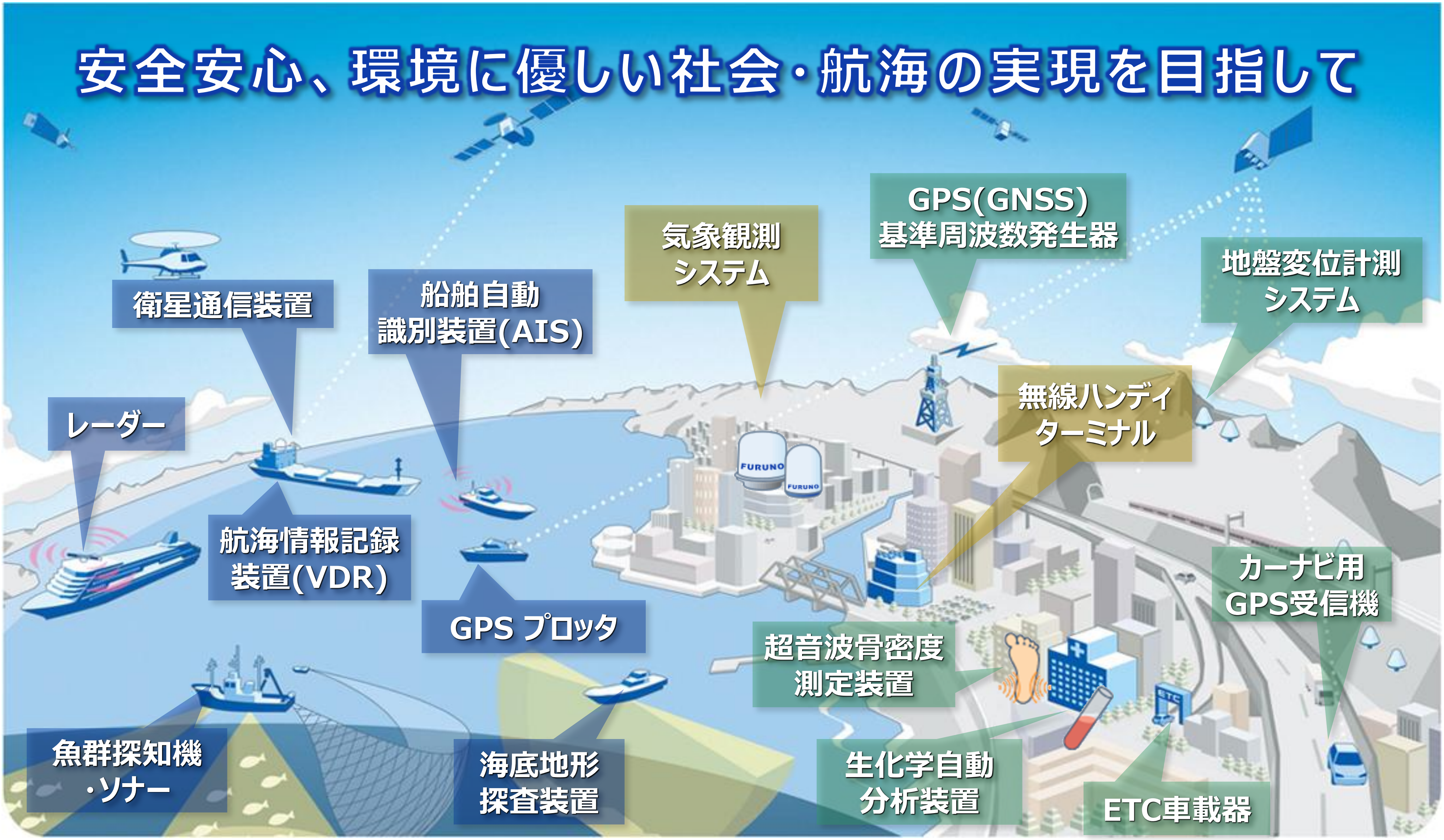
フルノの事業領域

FURUNO



FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

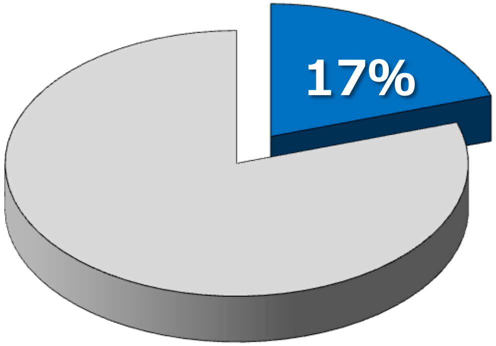
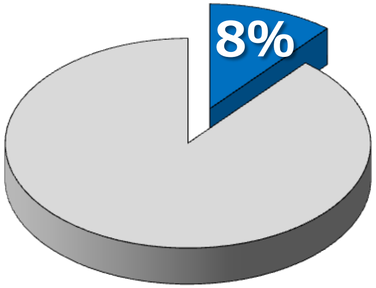
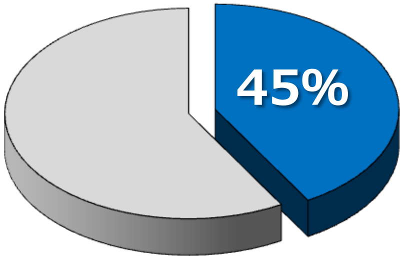
社会・航海を支えるフルノの商品



FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

【ご参考】舶用事業の推定市場シェア

市場規模は、2014年の各社売上データに基づく当社推定による試算値

商船向け	プレジャーボート向け	漁業向け
		
市場規模　**1,900億円**	市場規模　**1,100億円**	市場規模　**600億円**

総合舶用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

（世界市場 4,100億円のうち、シェア17%占める）

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.